

1. 第11回岩田校区防災訓練...9/6(日)9時~11時 @ 岩田小学校

今年度は、『体験!“新型コロナ対策”避難所開設訓練』と銘打って、コロナ禍の中の避難所開設訓練として、感染対策を中心にした体験を行いました。

概要は、東愛知新聞(9/24Ⓢ)の地域特集に掲載されました；

東愛知新聞 2020年(令和2年)9月24日(木曜日) 地域特集 (6)

地域の特集 (豊、岩田、多米、岩西、つじが丘、飯村)

わかまちと生きる

岩田校区の防災訓練

2015年に防災功労者 内閣総理大臣賞を受賞した岩田校区 防災訓練に力をいれており、佐原光一市長も「日本一防災訓練が得意な校区」と絶賛する。

今年9月6日に岩田小学校で開催し、コロナ禍に対応した訓練を展開した。会場に入る前の靴裏消毒から始まり、検温、体調確認の確認などを実施。さらに感染対策のための段ボールの仕切りや設置、消毒液の噴霧、消毒液の作成などを行った。また、たばこの防災を促すコーナーを設置したほか、消火器の使い方や体験した。

校区の運動会では、バケツリレーや担架搬送リレーをプログラムに組み込み、防災の視点も取り入れる。愛知

大学の学生が卒業論文で岩田校区の防災を取り上げたこともある。

校区の防災訓練は2010年に開始。小学校やPTAと連携して開催した年もあり、常に地域を巻き込んだ訓練になるよう努力している。

これまでに内閣総理大臣賞のほか、2012年に豊橋市長、2013年に愛知県知事、2014年に防災担当大臣から表彰を受けている。

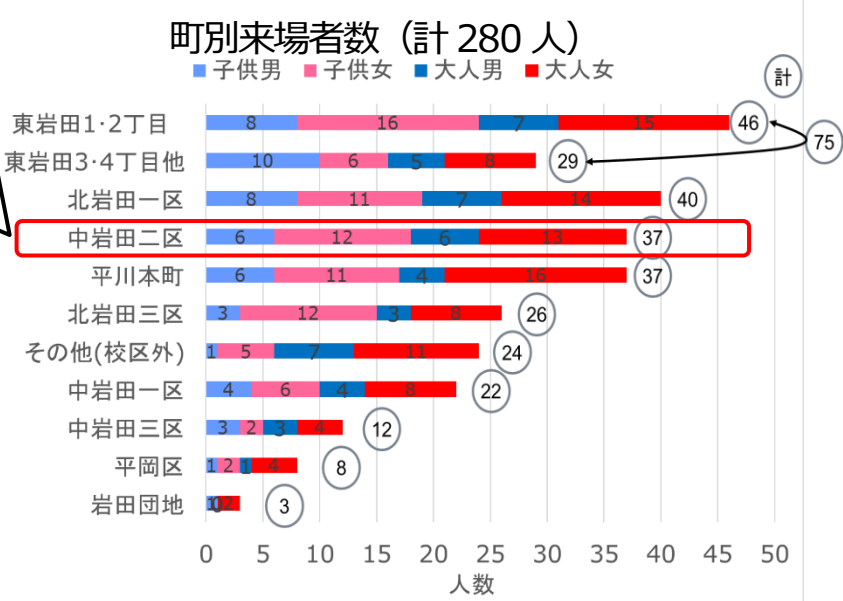
通常、校区の自治会長と防災会長は兼任するケースが多いが、2015年から分かれており、自治会組織も防災に力を入れる格好となっている。

訓練会場に入る前には靴裏を消毒




- ② 各自問診表に体調記入、飛散防止パネル越しに受付担当者による体調の確認した後に、各ブースの体験開始。
- ① 来場者ははじめに靴裏消毒、続いて検温後、体育館入場して受付。

【各町別来場者数】
中岩田二区は、東岩田、北岩田一区に続く3番目に多い37人の来場者。子供の参加が多いとその親御さんも一緒に参加する傾向がありました。運営および各コーナー担当者は計120人。来場者280人(グラフ)と合わせ計400人の参加となりました。



※本件については、11/10Ⓢ「岩田校区住みよい暮らし作り委員会」で報告しました。

編集後記...今年度の校区防災訓練は、コロナ禍という事態の中で内容を検討しましたが、来場者は自粛の中で少ないと想定して準備していました。ところが、当日朝の開催時には体育館前に大勢の行列ができ、開始早々から人数の入場制限を行うなど本番さながらの非常により避難所開設訓練となりました。